



出水高校だより

第十号 令和三年七月八日

企業が求める人材とは 〜県P連の講話から〜

七月七日(水)、鹿児島市

で開催された県PTA連合会の常任委員会に出席しました。会では、「鹿児島新卒応援ハローワーク」(鹿児島労働局管轄)の担当者を講師に迎え、若者の就職をテーマにした講話がありました。その内容がとても興味深かったので紹介します。

私の印象に残ったのは、「多くの企業は、学生に即戦力を求めているわけではない」という言葉でした。講師は「医師や教員などのように、職に就くのに必要な資格や免許はどうしても必要だ」と断った上で、「一

校長 宮原義文

企業が求める人材

コミュニケーション能力 (会話のキャッチボールがうまくできるか)	82.4%
主体性 (自分の意思で決断し、行動できるか)	64.3%
チャレンジ精神 (何事にも積極的に挑戦する気持ちがあるか)	48.9%
協調性 (チームプレイで、他人を意識して物事をうまく進められるか)	47.0%
誠実性 (真面目に人や物事に接することができるか)	43.4%
ストレス耐性 (ストレスに対するタフさ、ストレスにどれだけ耐えられるか)	35.2%

(一般社団法人日本経済団体連合会「新規採用に関するアンケート調査(2018年)」※PTA連合会第2回常任委員会(R3.7.7)で提示された講話資料を編集)

一般的には『たくさん資格を持つていたら就職に有利』だと思われているが、実は採用に

当たって、多くの企業は資格そのものには注目していません」と明言しました。特に情報技術系の企業ではその傾向が顕著なのだそうでは、企業は学生に何を求めているのでしょうか。講師によると、それは「将来的に企業を中心となるにふさわしい人材として必要な資質」なのだそう。具体的には、上段の表にあげた能力や資質だと説明してくれました。

ポスター作りしました



さらに講師は、「正しい生活習慣や社会常識」「意見を伝える力」「相手の話を理解する力」「自ら考える力」など、社会で必要な態度や力を高校生のうちに身につけてもらいたいと述べました。「就活で大切なのは、資格をたくさん持っていることではなく、企業で活躍するための基本的な能力や資質が身につけていること」このことを就活のプロフェッショナルの方から教えていただき、有意義な機会となりました。出水高校でも、これらの力を高める教育活動を展開していきます。

本年度の出水高校ポスターが完成しました。近日中に地区内中学校や公共施設に掲示を依頼する予定です。どうぞお楽しみに。

後輩に向けて

阿久根中学校「進路説明会」では、北園涼太さんがプレゼンを担当しました。野田中学校「上級学校説明会」では、天瀬瑛翔さんと中村悠一郎さんがペアでプレゼンしました。どちらも「出水高校のようすがよく分かった」と好評でした。



中村悠一郎さん・天瀬瑛翔さん



北園涼太さん